

農林業の未来を切り拓く！

東北農林専門職大学！



東北農林専門職大学ってどんなところ？

令和6年4月、新庄市に東北初の公立の農林業系専門職大学である東北農林専門職大学が開学した。設立の背景には、優れた技術だけでなく、経営力と国際競争力をもつて、現場で農業・森林業をリードしていく人材が求められているという現状がある。

専門職大学と通常の大学との大きな違いは、講義と実習のバランスの良さだ。農業・森林業の生産や経営・管理に必要な知識と技術を、講義や実習を通して修得するとともに、農業経営体や法人の実際の現場で実習を行い、実践的な技術と経営術を身につけることができる。また、学生は地域と連携した活動に参加しており、若者が増えたことで地域も盛り上がりを見せている。

初年度は43人が入学。県内はもとより、全国から農業・森林業を学びたい学生が集まった。

その第1期生の学生たちに、東北農林専門職大学を選んだ理由や入学してみての感想、卒業後の目標などを聞いてみたところ、力強い答えが返ってきた。

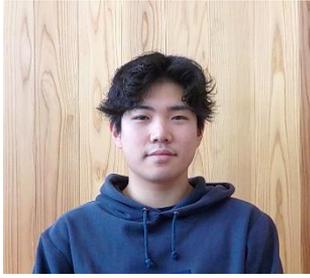


トマトの植栽実習の様子



つや姫稲刈りイベント

学生の皆さんにインタビュー！



みやかわ こうだい
宮川 昂大さん
新庄市出身



むらこし だいち
村越 大智さん
南陽市出身



さとう よしき
佐藤 義起さん
最上町出身

Q 東北農林専門職大学を選んだ理由を教えてください！

(村越)県内で就農するという目標を達成するために一番合っている大学だと思ったからです。実際の現場で実習できる点が決め手でした。

(佐藤)生産技術だけではなく経営も学びたいと思い、この大学を選びました。

(宮川)この大学では経営の基礎から応用まで学べるからです。「これからの農業は生産技術に加えて、法人化や流通が力になる」と考えている僕にぴったりの大学です。

Q 入学してみてもよかったところはどこですか？

(宮川)同じ志を持つ仲間たちと勉強できるところです。

(佐藤)宮川君の考えと同じです。時おり意見がぶつかることがありますがお互いを高めながら大学生活を送っています。

(村越)県内外から集まった学生たちと交流できます。グループワークが多く友人がたくさんできます！

Q 東北農林専門職大学で学んでいることを、卒業後にどのように農業や地域に活用したいですか？

(佐藤)実家の農業を継ぎたいです。目標は今よりも経営面積を拡大することです。周辺の農家さんと協力してなにかできたらいいなと考えています。

(宮川)実家の水稲と花きの栽培面積を拡大して、消費者に喜んでもらえる農産物を栽培したいです。法人化も目標にしています。

(村越)品質の高い農産物を安定して供給したいです。流通や経済などを学んで、地域を引っ張っていきけるような生産者を目指しています。周辺企業や学校と連携した取り組みも面白そうですね。



ご協力ありがとうございました！
目標に向かって頑張ってください！

大学 HP



Instagram



X



学生の様子を SNS でチェック！！